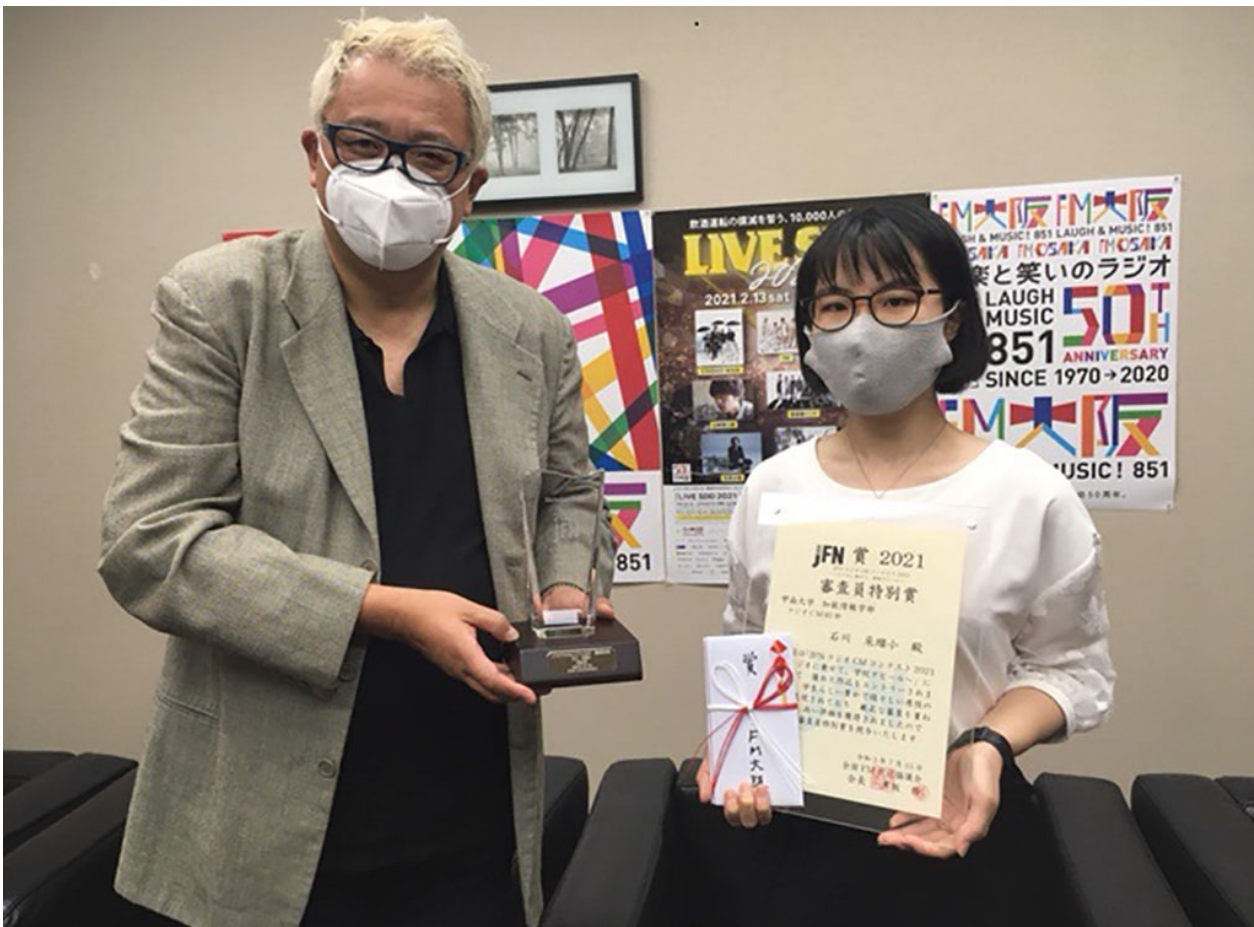


甲南大学知能情報学部田中研究室 ほぼ毎月発行
http://carnation.is.konan-u.ac.jp
編集責任 田中雅博

石川さんの甲南大学CMがラジオから流れます

ラジオCMコンテストで審査員特別賞を受賞



ラジオCMコンテストで 入選した話

先日、個人で応募した「JFNラジオCMコンテスト」に応募した作品が、審査員特別賞を受賞しました。(これがどれくらいすごいのかは、分かりませんが、参考までに賞金は5万円でした。)

このコンテストは、全国放送協議会が主催する、私が考えたのは、男子学生が大学のマドンナに告白

みなさん。FM大阪本社へ行くときはしっかりと待ち合わせ場所を決めておくべきです。いや、どこで待ち合わせする時もそうすべきだ。と、みなさん思いましたね。その通りです。ですが今回、「現地集合」にしたことを後悔した、私の一日をお話したいと思います。

FM大阪の場所はご存じでしょうか？大阪の「難波駅」を出て、徒歩10分ほどのところにある、写真のような特徴的な建物がそうで

本社に撮りに 行った時の失敗談

す。こんなに分かりやすい建物なら、迷うわけがないじゃないか、と思われたのではないのでしょうか。その通り。駅から近い、建物も特徴的、ほとんど迷うことなく現地につくことができました。しかし、待ち合わせには不向きな場所なのです。

理由は大きく分けて2つ。まず、難波という都会へ様々な方法で来ることが可能である、ということ。FM大阪から最も近いのはJRですが、他にも地下鉄

「現場集合」などというふわっとした待ち合わせをした私の愚かさを。私はこの日、4人のグループとFM大阪で「現地集合」をしました。数年ぶりに会う人と初対面の人の組み合わせでした。当日、私が乗っていた電車が若干遅れており、待ち合わせの時間5分前にFM大阪に到着しました。順に、先に述べた待ち合わせスポットを巡っていると、FM大阪の入り口付近に4人のグループがいました。私は、そのグループを見たとき、「私が一番最後に到着してしまっ

た！皆さんをお待たせして申し訳ない！」と思いきり、駆け寄り、「すみません！遅くなりました！」と、声をかけながら近づきました。なんと、数年ぶりにお会いするし、初対面の方もいらっしゃるの、私が誰だかわからないのだな、と勝

する練習と甲南学園創立者平生鈞三郎さんの「常に備えよ」という言葉を組み合わせ、クスツと笑えるCMです。こちらのCMも実際にFM大阪のスタジオにお邪魔して、プロの方々に協力していただきながら、CMを作りました。たった40秒のラジオCMですが、テストしたり、いろいろな言い方のバージョンをとったりと1時間半くらいみっちり、作業していただきました。私たちが普段聞いているCMの短い数秒には、たくさんのこだわりと熱意が込められているのだなあと驚きました。

たぐさんの人に協力して頂き、完成したCMですが、惜しくも最優秀賞・優秀賞を逃してしまいました。しかし、このCMを高く評価してくださった審査員の方が、この作品のために、審

査員特別賞を設立してくださり、その賞を受賞することになりました。実を言うと、当初は気楽に応募した作品が受賞してしまいました。しかし、実際にラジオCMを作らせてもらったり、それが放送されることを知ったり、賞を受賞してトロフィーや賞金を頂いたりすることに、なんだか不思議な気持ちで、他人事のように。「まさか自分が。」と思う日が来るものですね。

今回受賞したCMは、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、CMの音源が掲載してあるHPが見つかるので、少しでも興味を持っていただけた方はぜひ聞いてみてください。(石川)

手には解釈し、「石川です！」と、謎の自己紹介をそこでしました。それで納得したのか、4人のグループと一緒に、録音するスタジオに向かうことになりました。そのグループの方々と一緒に、エレベーターで建物7FのFM大阪のオフィスに上がり、入館名簿に名前を書き、録音スタジオへ入りました。その間ずっと、世間話をしていたのですが、だんだん話がかみ合わなくなっていました。特に、初対面の方は大学生だと聞いていたのに、学部について尋ねると、声のお仕事をしているとおっしゃって下さい。どうも学生ではないらしい。うーん。私の記憶違いかな？と不思議に思っていると、「石川さん！心配したよ！」と、録音スタジオに新たな4人グループが入ってきました。そして、そのうちの1人はさすがに見覚えのある人です。それもそのはず、今来た4人が、本来待ち合わせをしていた、4人のグループだったのでした。

勘の良い人は気づいていたかもしれないですが、私はこのとき、やっと自分が人間違いしていたことに気づきました。私が、一緒に録音スタジオまでやってきた4人グループは、今から撮るラジオCMのキャストの方々だったのです。思い返せば、合流した時の不自然な空気感、学生の割にしっかりとした話し方、だんだんとかみ合わなくなる会話。そして、何より数年ぶりに会う方の顔に何となく見覚えがないということなど、様々気になるポイントがありました。それを全てスルーする私の能天気さと、いくつかの奇跡が重なって、ちよつとしたミラクルが起きていました。

まあ、人間違いをするわ、勝手に録音スタジオまで来てしまいうわで皆様に謝罪から始まったCM作りでしたが、皆さんとてもいい人ばかりで、素敵なCMができました。8月9日から2週間「School of Lock」の番組内で大体23時頃、私が考えた甲南大学の40秒CMが放送されます。また、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、過去の受賞作品のページにCM音源が掲載されています。気が向いたら聞いていただけると嬉しいです。

まあ、人間違いをするわ、勝手に録音スタジオまで来てしまいうわで皆様に謝罪から始まったCM作りでしたが、皆さんとてもいい人ばかりで、素敵なCMができました。8月9日から2週間「School of Lock」の番組内で大体23時頃、私が考えた甲南大学の40秒CMが放送されます。また、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、過去の受賞作品のページにCM音源が掲載されています。気が向いたら聞いていただけると嬉しいです。

まあ、人間違いをするわ、勝手に録音スタジオまで来てしまいうわで皆様に謝罪から始まったCM作りでしたが、皆さんとてもいい人ばかりで、素敵なCMができました。8月9日から2週間「School of Lock」の番組内で大体23時頃、私が考えた甲南大学の40秒CMが放送されます。また、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、過去の受賞作品のページにCM音源が掲載されています。気が向いたら聞いていただけると嬉しいです。

まあ、人間違いをするわ、勝手に録音スタジオまで来てしまいうわで皆様に謝罪から始まったCM作りでしたが、皆さんとてもいい人ばかりで、素敵なCMができました。8月9日から2週間「School of Lock」の番組内で大体23時頃、私が考えた甲南大学の40秒CMが放送されます。また、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、過去の受賞作品のページにCM音源が掲載されています。気が向いたら聞いていただけると嬉しいです。

まあ、人間違いをするわ、勝手に録音スタジオまで来てしまいうわで皆様に謝罪から始まったCM作りでしたが、皆さんとてもいい人ばかりで、素敵なCMができました。8月9日から2週間「School of Lock」の番組内で大体23時頃、私が考えた甲南大学の40秒CMが放送されます。また、「JFNラジオCMコンテスト」と検索していただくと、過去の受賞作品のページにCM音源が掲載されています。気が向いたら聞いていただけると嬉しいです。



コロナ禍のもと、

2回目の夏休み！

コロナの状況

コロナは、再び猛威を振るい始めました。感染力が非常に強いという、デルタ株が広まっているためと思われまます。兵庫県では、今日現在、緊急事態宣言もまん延防止等重点措置もとられていませんが、感染者の数はかなり増えており、本学の学生にも、感染者が散見されています。

第5波（になることは間違いないでしょう）の、今までの違いは、一つは、ワクチン打った人がある程度いること、また、若い人の感染への恐怖心はさらに薄れていることでしょう。

私（田中）は、高齢者枠で、6月15日に、ファイザーの2回目をすでに終えています。学生たちも、多くは、ワクチン打ったようです。ワクチンを2回打つて、その後2週間以上経った人が感染するのはブレイクスルーといいますが、外国の例ですと、1万人に一人程度のように、ほぼ安心していいのではないかと思われまます。

若い人は、ワクチンへの恐怖心が大いさうで、ワクチン打ってないにもかかわらず、夏の暑さや解放感からか、多くの人が無防備に町に繰り出し、感染する人が多くいます。

ワクチン打たない人は、熱や倦怠感など、高率で発生している副反応や、ワクチン打って亡くなっ

た人が結構多いことなどを嫌う人、mRNAワクチンの長期的な未知の悪影響を懸念している人の二通りがあるようです。ワクチン打つ・打たないは、個人が判断することとされていますので、その判断についてコメントはしません。打たないなら、デルタ株の感染の可能性が高い街では、今までも増して細心の注意を払わなくてはなりません。自己防衛をしなければ、感染してしまうことは目に見えています。すでに街には、ウイルスがまん延してしまつたので、そこに平気で行くことは、武器を持たずに戦場に行くようなものだと私は考えています。

ウイルスは、次第に弱毒化して、単なる風邪のようになって終わるとい一般論もありますが、今報じられている話では、デルタ株ではそういう風にはなっていないと。ワクチン打っていない若い人に、重症化する人が多く出ているとか、軽症のままに陰性になったりする人の多くに、耐えられない苦痛を伴う後遺症が出る人が多いなどの報道があることは皆さん知っていると思います。まだ甘く見てはいけません。そういうことを知ったうえでワクチン打たないという選択をするには、確かな理由、慎重な生活を送らなければならず、よほどの覚悟を持つ必要があると思えます。

夏休みの過ごし方

夏休みは、大学の学年歴では、8月3日から9月23日となつています。結構長いですね。我々教員は、9月に入つた早々、大学院入試があり、会議もいろいろあり、そうこうしているうちに、新学期の2週間前となり、授業の準備をしなければなりませんから、夏休みという感覚は主に8月のみです。

さて、コロナ禍のもと、皆さんはどういう過ごし方をするか、計画を立てましたか？

コロナ禍であっても、皆さんが歳を取るスピードは遅くはなりません。就職活動開始も、延びたりはしません。

特に、ワクチン打たないことにしている人は、街に繰り出すことは危険であることをしっかりと受け止めて、ふらふら歩かず、家で勉強、研究するのがいいのではないかと思います。

米国Google社ではワクチン接種をしていない人のオフィスへの立ち入り禁止が始まりました。日本のGoogleでも場合によっては同じ規制を敷かれることは考えられます。日本では、こういう規制を、差別という言い方をする人がありますが、自分の選択で決めたことに対して、差別ということにはなりません。

本でも、今後制御が効かないほどまん延したら、どういう規制が始まるか、わかりません。ワクチン打った人は、アナフィラキシーや死亡もあり得る副反応のリスクを覚悟で打っているのです。打たないことを決めている人も、全く反対側から、覚悟が必要です。

4年生以上の皆さんには、それぞれ研究テーマが決まっています。研究は、忙しい時には気持ちこそそこにもつていくのも大変ですが、夏休みのようにまとまって時間が取れるときこそ、研究ができるチャンスです。学校に来れば、いつでも指導はできますし、自宅からでもオンラインで指導はします。

皆さんは20代前半の人が大部分ですが、その年齢のときが、記憶力もまだ衰えず、ある程度いろいろな知識もつき、社会のことも少しわかつてきて、勉強へのモチベーションを維持し、実際に勉強が楽しくできる、まさにその年齢です。

私65年生きてきて、歳をとるほど勉強が面白くなるということは経験していませんが、いかにせん、歳をとると記憶力が減退し、すでに勉強したことをすっかり忘れてまた一から勉強したりといった、無駄が増えてきます。

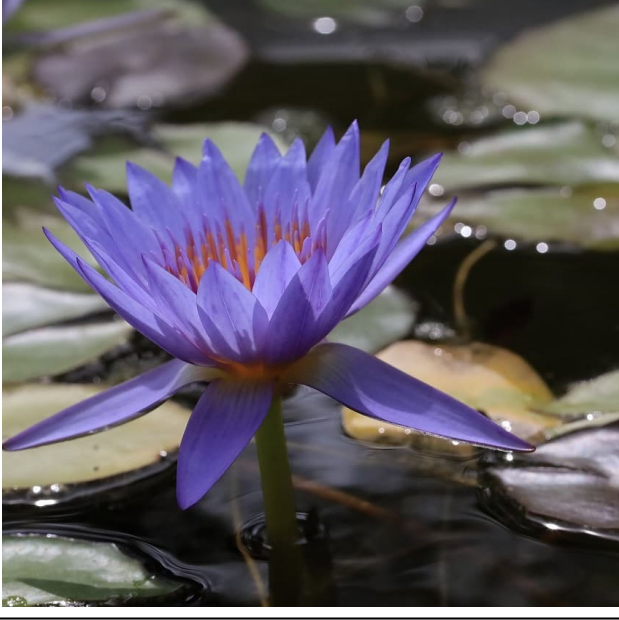
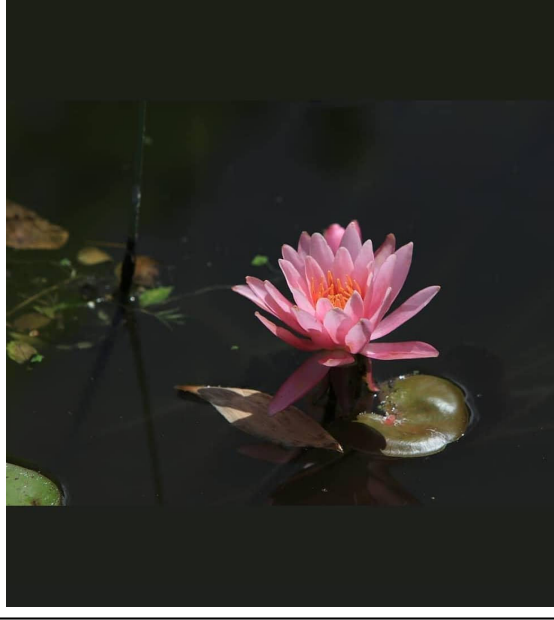
今こそ、外国語のマスター、コンピュータ言語のマスターといったことをするチャンスであり、今しかありません。

8月の花

ひまわりと睡蓮

8月は、何と言つても向日葵だろ。こんなに派手で、自己主張のある花を知らない。だって、朝は下を向いていて、太陽が上がってくれば一斉にそちらを向

く。かわいいと思いませんか。半田山植物園には、焼け焦げたような色の向日葵がある。これは、珍しい。



さて、睡蓮も8月の花と言つていいのではないだろうか。これも思った以上にいろいろな色がある。睡蓮は、1日の中で、花が開いたり閉じたりする。

モネは、たくさんの睡蓮の絵を描いたことで有名だが、改めて絵を見ると、あまり花がしっかりと描かれていない。むしろ、池とのバランスの中で、睡蓮が描かれているので、あまり睡蓮の花自体を知らない人が多いのではないだろうか。

ここに載せたもの以外にも、植物園の池には咲いている。

10月29日 修士論文中間発表会

きたものもいろいろある。たとえば、政治の重要性。政府の方針一つで、コロナがバアアッと広がったり、一瞬おさまったり。コロナの陽性者数は、ランダムに見えて実は非常に決定論的な数値が出てくることもわかった。長らく、前日との増減が報じられ、週の前半は、少し減少、週の後半は再び増加という、全く知性の感じられない報道が1年も続いたが、最近になって、ようやく前の週と同じ曜日との比較が主流となった。

こういふことは、その分析者が多少の知性を持っていればできることだろ。データサイエンスのお世話になるまでもない。そういう意味では、マスコミの知力の低さもいぶん感じた。

オリンピックを開く、7月8月は良い季節だと前安倍総理が言つたとか言わないとか。日本人なら、この季節がどんな過酷か誰でも知っている。猛暑か、あるいは梅雨の末期の大雨か。もし安倍氏が本当に良い季節と思つているのなら、毎日クーラーの効いたところから一歩も外に出ないからに違いない。まあ、こんな嘘に騙されるようでは、外国のマスコミも大したことはない。

確かに、オリンピック開会前に、「コロナが広まったらどうするか」という問いに対し、菅総理はまともに答えず、安心安全な大会にすると言つたことは私も覚えてる。今では、中止は100%ないと言つている。最初からこの状況になることはわかつていた。そのうえで、議論をするといつた、大人の議論は日本では全くできないのか。次第に、日本の嘘が外国にも見破られてきている。日本がまともに議論できる国にならなければ日本の将来はないと思う。

編集後記

コロナ禍での新聞製作も、1年半を迎えた。いかに、人は他人とのコミュニケーションが重要かということをつくづく感じる。ネタがなかった。

コロナ禍で、今まで見えていなかったものが見えて